

報道関係者 各位

平成 27 年 3 月 18 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 青木 仁 (内線 2578)

国家試験係長 新津 久雄 (内線 2574)

(代表電話) 03(5253)1111

### 第 108 回歯科医師国家試験の合格発表について

平成 27 年 1 月 31 日 (土) 及び 2 月 1 日 (日) に東京都他 7 カ所において実施した第 108 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,525 人	1,995 人	1,457 人	73.0%
全体	3,695 人	3,138 人	2,003 人	63.8%



## 第108回歯科医師国家試験の合格基準

第108回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ① 領域A（総論）    | 68点以上／109点  |
| ② 領域B（各論Ⅰ～Ⅲ） | 127点以上／185点 |
| ③ 領域C（各論Ⅳ～Ⅵ） | 139点以上／205点 |
| ④ 必修問題       | 55点以上／68点   |

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、  
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

- |            |       |
|------------|-------|
| ⑤ 必要最低点    | 0領域以下 |
| ⑥ 禁忌肢問題選択数 | 2問以下  |

とする。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 15 問

15 診療後の廃棄物で特別管理産業廃棄物に分類されるのはどれか。1つ選べ。

- a 薬 瓶
- b 滅菌袋
- c 石膏模型
- d ペーパータオル
- e ディスポーザブル手袋

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問が不十分で正解が得られないため、採点対象から除外する。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 23 問

23 高齢者の象牙質の性質で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 韌性の低下
- b 弾性係数の低下
- c 微小硬さの低下
- d 曲げ強さの上昇
- e 物質透過性の亢進

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 73 問

73 ピロカルピン塩酸塩によって亢進するのはどれか。2つ選べ。

- a 散 瞳
- b 心拍数
- c 唾液の分泌
- d 腸管の蠕動運動
- e 血管平滑筋の収縮

( 採点上の取り扱い )

3通りの解答を正解として採点する。

( 理 由 )

3つの選択肢が正解であるため、3通りの解答を正解として採点する。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 110 問

110 ヒトの DNA で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a RNA の逆転写で合成される。
- b プリン塩基は尿酸へ異化される。
- c 塩基間の結合は共有結合である。
- d アデニンとウラシルの含量は等しい。
- e 損傷を受けると修復する機構がある。

( 採点上の取り扱い )

3通りの解答を正解として採点する。

( 理由 )

3つの選択肢が正解であるため、3通りの解答を正解として採点する。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 113 問

113 2歳の男児。Langerhans 細胞性組織球症の診断を得た。初診時のCT(別冊 No. 21)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 外科的切除
- c 放射線照射
- d 抗癌剤治療
- e 副腎皮質ステロイド薬投与

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

設問の状況設定が不十分であり、正解が得られないため、採点対象から除外する。



第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 11 問

11 72歳の女性。左側上顎悪性腫瘍切除後の義歯製作を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊 No. 11A)と精密印象採得に使用する個人トレーの写真(別冊 No. 11B)を別に示す。

この装置で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 左右の印象は別々に採得する。
- b 誤嚥を避けるために使用する。
- c 左右2つの作業模型を製作する。
- d 重度の開口障害がある場合に有用である。
- e 左右のトレーは口腔内挿入前に接合する。

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

選択肢が不明確で、正解が得られないため。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 22 問

22 歯周ポケット内の細菌の同定に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a Gram 染色
- b 抗体価測定
- c 位相差顕微鏡
- d 酵素活性測定
- e Polymerase Chain Reaction(PCR)法

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

設問が不十分で正解が得られないため、採点対象から除外する。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 43 問

43 2ステップセルフエッチングプライマーシステムを用いてコンポジットレジン修復をすることとした。

プライマー塗布後にエアブローを行う目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯質の脱灰
- b 象牙細管の封鎖
- c スミヤー層の除去
- d 機能性モノマーの浸透
- e コラーゲン線維の膨潤

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第108回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 106 問

106 濾紙ディスク法による味覚検査に用いる試薬はどれか。2つ選べ。

- a 酒石酸
- b ニコチン酸
- c 塩酸キニーネ
- d アルギニン酸
- e アスコルビン酸

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

選択肢に不適切があるため、採点対象から除外する。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第99回	平成18年2月11～12日	3,308 ( 2,487 )	2,673 ( 2,188 )	80.8 ( 88.0 )
第100回	平成19年2月10～11日	3,200 ( 2,580 )	2,375 ( 2,087 )	74.2 ( 80.9 )
第101回	平成20年2月9～10日	3,295 ( 2,487 )	2,269 ( 1,948 )	68.9 ( 78.3 )
第102回	平成21年2月7～8日	3,531 ( 2,516 )	2,383 ( 1,915 )	67.5 ( 76.1 )
第103回	平成22年2月6～7日	3,465 ( 2,355 )	2,408 ( 1,921 )	69.5 ( 81.6 )
第104回	平成23年2月5～6日	3,378 ( 2,356 )	2,400 ( 1,928 )	71.0 ( 81.8 )
第105回	平成24年2月4～5日	3,326 ( 2,311 )	2,364 ( 1,882 )	71.1 ( 81.4 )
第106回	平成25年2月2～3日	3,321 ( 2,373 )	2,366 ( 1,907 )	71.2 ( 80.4 )
第107回	平成26年2月1～2日	3,200 ( 2,241 )	2,025 ( 1,642 )	63.3 ( 73.3 )
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 ( 1,995 )	2,003 ( 1,457 )	63.8 ( 73.0 )

※( )内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	受験者数(人) 男女比(%)	合格者数(人) 男女比(%)	総数	男女別合格者数		男女別合格率(%)	
				男性	女性	男性	女性
第104回 (平成23年)	受験者数(人)	3,378	2,144 (63.5)	1,234 (36.5)	68.5	75.4	
	合格者数(人)	2,400	1,469 (61.2)	931 (38.8)			
第105回 (平成24年)	受験者数(人)	3,326	2,056 (61.8)	1,270 (38.2)	68.3	75.6	
	合格者数(人)	2,364	1,404 (59.4)	960 (40.6)			
第106回 (平成25年)	受験者数(人)	3,321	2,035 (61.3)	1,286 (38.7)	68.3	75.9	
	合格者数(人)	2,366	1,390 (58.7)	976 (41.3)			
第107回 (平成26年)	受験者数(人)	3,200	1,998 (62.4)	1,202 (37.6)	59.8	69.1	
	合格者数(人)	2,025	1,194 (59.0)	831 (41.0)			
第108回 (平成27年)	受験者数(人)	3,138	1,955 (62.3)	1,183 (37.7)	58.9	72.0	
	合格者数(人)	2,003	1,151 (57.5)	852 (42.5)			

第108回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)	合格者数(人)	合格率(%)
新卒 平成26年4月～平成27年3月	1回	1,995	63.6	1,457	73.0
既卒 平成25年4月～平成18年3月以前	2回	598	19.1	377	63.0
	3回	217	6.9	107	49.3
	4回	71	2.3	29	40.8
	5回	54	1.7	12	22.2
	6回	31	1.0	5	16.1
	7回	54	1.7	10	18.5
	8回	32	1.0	1	3.1
	9回	23	0.7	2	8.7
	10回以上	63	2.0	3	4.8
	計		1,143	36.4	546
総計		3,138	100.0	2,003	63.8